

渡辺大三

週刊
NEWS



【会派 NEWS】 2019(平成 31)年 1 月 31 日号 週刊 Vol.7
お気軽にご連絡ください 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

体協幹部、「不適切」手当を返還へ 渡辺大三の議会での徹底追及が実る



スポーツ振興担当課長は、小金井市の財政援助団体である公益財団法人小金井市体育協会の幹部役員が、受け取っていた手当(費用弁償や交通費)を体育協会に返金することになった一との趣旨の報告を行いました。

返金は総額で約60万6000円になる見通しです。

本件に関しては、体育協会の関係者から「内規に支給規定のない手当や雇用契約に定められた額より多い不正な手当が支給されているのではないか」との内部告発が私にありました。

私は事実関係に関して分析を進め、昨年11月14日の総務企画委員会で徹底追及しました。具体的には、本来「月額7万円」を振り込むべきところ、情報公開された通帳の写しでは「月額8万2500円」で振り込まれており、差額の1万2500円の根拠を質問したものです。市教委は、私の追及に対して調査を約束。その結果、年が改まった1月28日の総務企画委員会で冒頭に記した報告が行われました。

翌日の読売新聞に関係記事が

公益財団法人小金井市体育協会の
手当「過大支給」事件を報じる読売新聞記事
(平成31年1月29日付／武蔵野版)

1月28日に開催された市議会の総務企画委員会において、市教委の

大きく報道されましたのでご一読願います。

警察も捜査している

また、体育協会の財務会計問題に関しては、小金井警察署も動いており、市教委の担当課長が事情聴取されていることも分かりました。

私の調査によれば、「体育協会の理事は有給職員を兼ねることができない」との規定があった当時、専務理事が有給の事務局長職を兼任していたことが問題視されているようです。

本来であれば兼務禁止規定に反して受け取っていた給与も全額返金されるべきだと私は思いますが、今回の返金にはこれは含まれていないとのこと。

今後の警察の捜査を見守りたいと思います。

体協の正常化が急務

この間、体育協会を巡っては、理解できない問題が重なってきました。

たとえば、近年でも、「市報こがねい」を使って正規職員を公募し、面接まで行いながら、実は内部のパート職員を正規職員にすることが決まっていたという「職員公募偽装事件」もありました。

最近でも、周年事業の会費を異様に高く設定し、利益を浮かせ、一部職員に配分することを検討していた様子があります。これはブレーキがかかったようですが、常識では考えられません。会場も公共施設であり、安価な会費にして、誰でも参加しやすくするのが当然ではないでしょうか？

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが近づいてきています。小金井市のスポーツ行政にとって体育協会は重要なパートナーであり、人事を根本的に刷新して、運営を正常化すべきだと私は考えます。

自販機収入は適正な配分を

もう一つの問題は、総合体育館などの市のスポーツ施設に置かれている自販機の収入を体育協会が独占していることです。

体育協会以外にも、黄金井倶楽部のように非常に活発に有益な事業を展開していただいているスポーツ団体もあるわけですから、市のスポーツ施設の自販機の収入(年額約400万円の利益)は、小金井市が収入し、各スポーツ団体の事業内容に応じて平等に配分すべきです。

ましてや、体育協会の財務会計は、上記のように混乱を極めており、市の施設の自販機収入をお預けで

きるような状況ではありません。

現在、市議会の厚生文教委員会は、「市のスポーツ施設の自販機収入を市で収入することを求める陳情書」を審査しています。一刻も早く陳情を採択し、この4月から実行すべきだと私は考えます。

多すぎる議員定数問題

各会派が見解を表明

多摩 26 市中、人口 11 万人～12 万人の 4 市において、3 市(国分寺市、昭島市、東久留米市)が市議会議員定数「22」で、小金井市議会だけが「24」になっている問題について、1月23日の議会運営委員会で、情報公開こがねいと公明党が提案している「市議会議員定数の削減」について、全会派の意見表明がありました。賛否等の内訳は以下の通りでした。

○削減に「賛成」は、4 会派 11 議員。

⇒情報公開こがねい(渡辺大三)／公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)／自民党信頼(五十嵐・遠藤・湯沢・吹春・河野)／改革連合(篠原)。

○削減に「反対」は、5 会派 8 議員。

⇒共産党(森戸・板倉・水上・たゆ)／こがねい市民会議(斉藤)／ネット(田頭)／市民カエル(片山)／緑つながる(坂井)。

○削減に「現時点で反対」は、1 会派 3 議員。

⇒みらい(鈴木・村山・岸田)

○削減に「現時点で賛否が言える状況にない(調査等が必要)」は、2 会派 2 議員。

⇒こがおも(白井)／こがあす(沖浦)

「現時点で賛否は言わない」の 2 議員が賛成になれば削減は実施できます。あるいは「現時点で反対」の 3 議員が賛成に転じても削減は実施できます。

市議会議員の定数は、市民代表である議会の構成に関わるものなので、市民の皆さんの「声」が大事だと思います。

小金井市議選は 2 年 3 か月後ですので、それまでに定数に関する議論を促進する必要があります。

日々の市議会報告や活動報告は、Twitter、facebook に掲載しております。「渡辺大三 HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>

